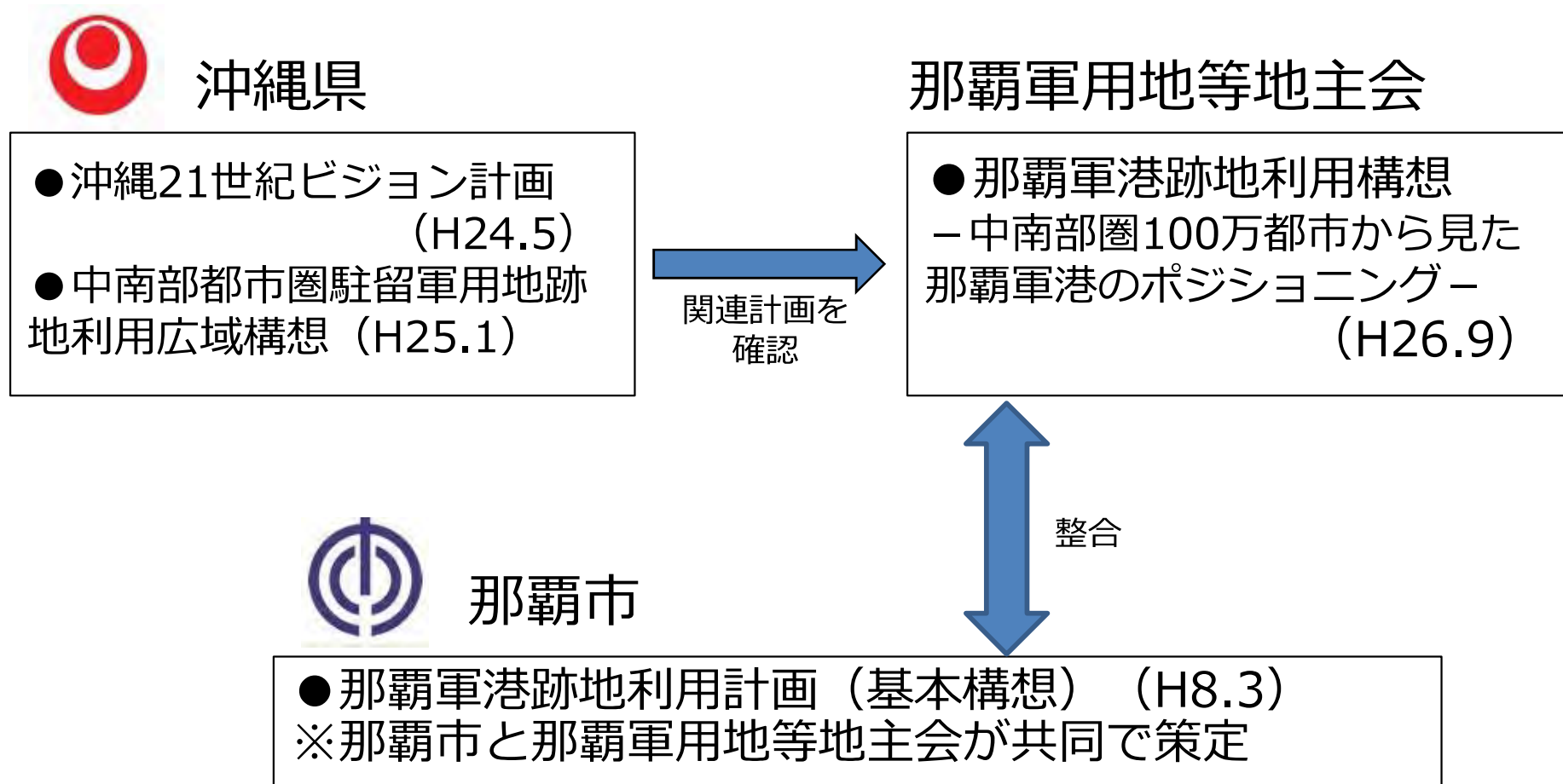


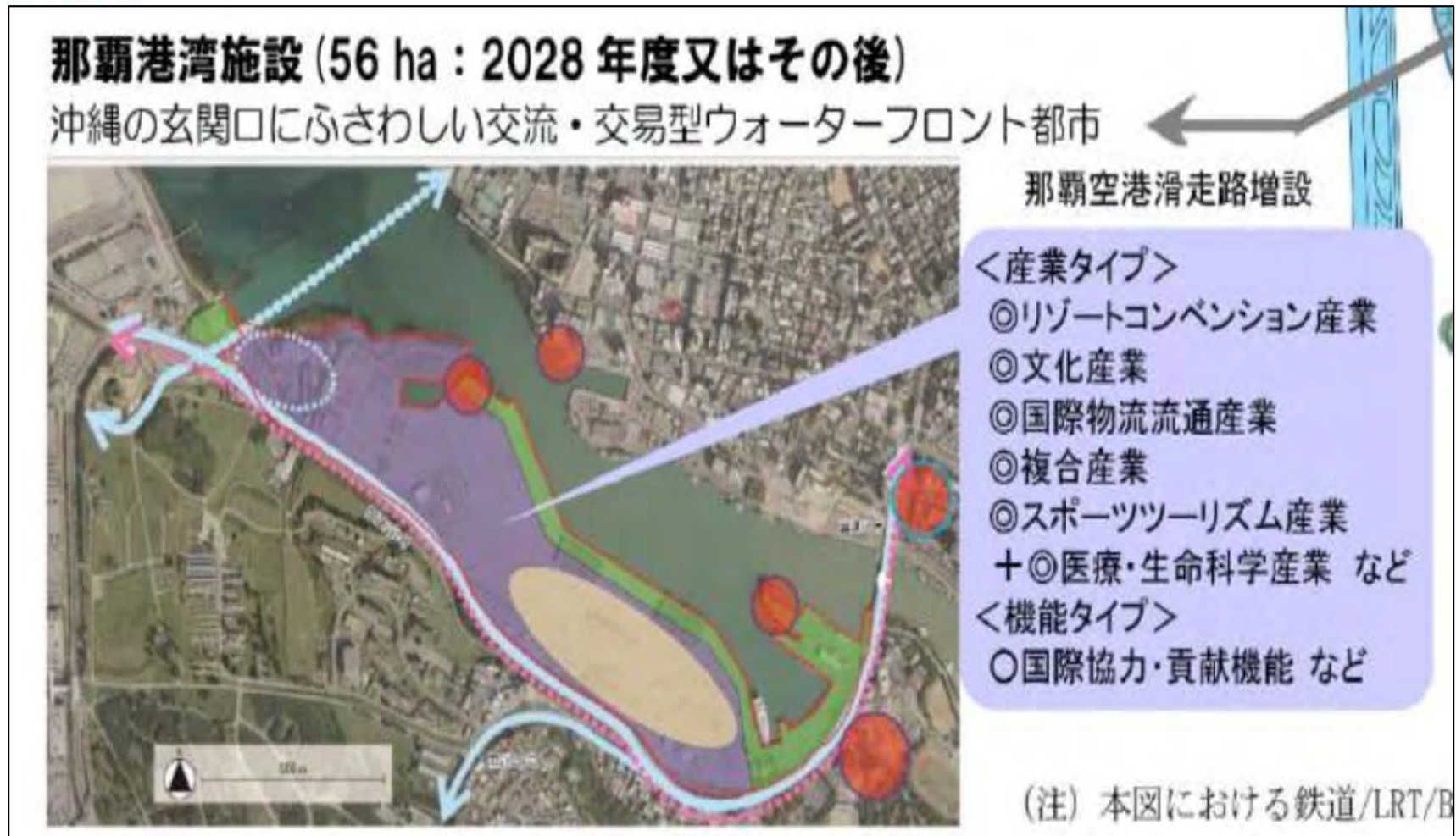
2. 返還後の跡地利用に係る現時点での検討状況、課題認識



2. 返還後の跡地利用に係る現時点での検討状況、課題認識



沖縄県：中南部都市圏駐留軍用地跡地利用広域構想（H25.1）

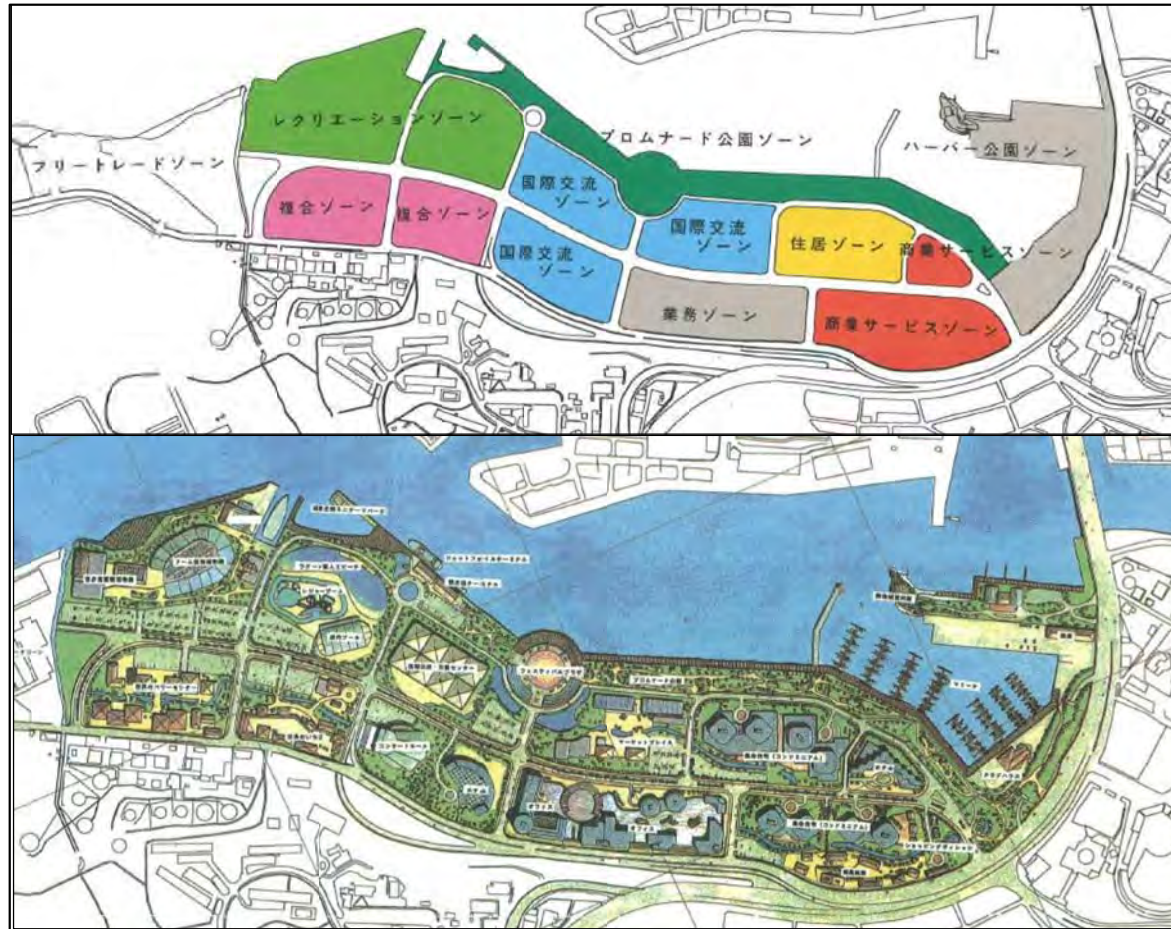


(出展：中南部都市圏駐留軍用地跡地利用広域構想（H25年1月）（沖縄県HP）)

2. 返還後の跡地利用に係る現時点での検討状況、課題認識



那覇市・那覇軍用地等地主会 ：那覇軍港跡地利用計画（基本構想）（H8.3）

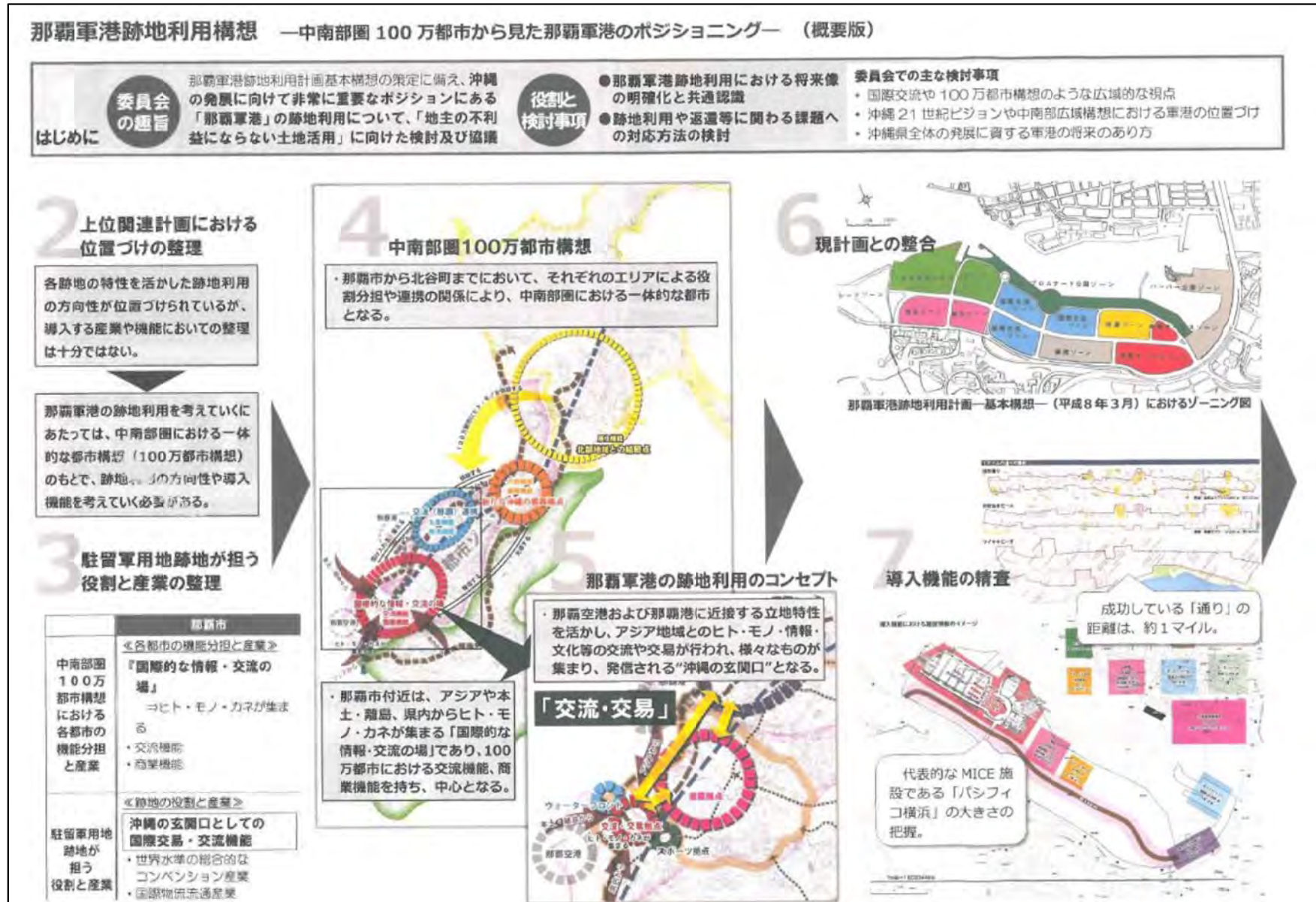


（目的）
「どのような都市を創るか」という問題をより具体的な視点で、率直な議論を行うこと。

（出展：那覇軍港跡地利用計画（H8年3月）（那覇市HP））

2. 返還後の跡地利用に係る現時点での検討状況、課題認識

那覇軍用地等地主会：那覇軍港跡地利用構想（H26.9）



2. 返還後の跡地利用に係る現時点での検討状況、課題認識

那覇軍用地等地主会：那覇軍港跡地利用構想（H26.9）

那覇軍港に導入する機能の考え方

○ 大規模MICE施設を中心とする国際交流・交易機能

- ・人、モノ、情報、文化の交流をテーマとし、国際会議、国際大会、見本市、交易会等が開催される。
- ⇒ 大規模MICE施設、多機能複合ホテル、屋外ステージ

○ 情報発信機能

- ・沖縄の歴史文化、観光関連情報、企業情報、市町村情報など、あらゆる沖縄関連の情報が集積し、発信される。
- ⇒ 多言語対応情報案内センター

○ 国際物流拠点産業（航空・臨港型高付加価値産業）

- ・那覇空港・那覇港を活用した高付加価値型の産業が集積し、フリーゾーンとの連携が図られる。
- ⇒ 貿易関連等の企業を対象としたオフィス

○ 都市型ウォーターフロント機能

- ・シンボルのひとつとなり、フェリーやヨットが往来し、海を感じさせる憩いの空間として、市民にとっても充分利用できる。
- ⇒ プロムナード、親水空間、カフェ
- ・眺望が楽しめる視点場
- ・歴史的、景観的に価値がある御物城を活かした空間

○ レクリエーション・リゾート機能

- ・集まった人が、飲食、ショッピング、エンターテインメント（ショービジネス、音楽・演劇ライブ、プロジェクションマッピング等）が楽しめる。
- ⇒ レストラン、ショッピングモール、劇院、ステージ、アミューズメント施設

○ 潜在機能

- ・観光やビジネスとしての利用。
- ⇒ 多機能複合ホテル
- ・住居や別荘としての利用。
- ⇒ 高級マンション、長期滞在型リゾートコンドミニアム

○ スポーツ関連機能

- ・スポーツ拠点である奥武山公園と連携した、プロスポーツ選手の疲労回復やトレーニングの場となることにも、若年層やビジネスマン、観光客等がフィットネスとしても利用できる。
- ⇒ トレーニング・フィットネスジム

○ 交通結節機能

- ・バス、モノレール、鉄軌道、水上交通等、公共交通を中心とする交通機関相互の乗り換え・乗り継ぎ。
- ⇒ 立体駐車場、乗降施設、乗換え案内・運行情報提供施設、待合スペース
- ⇒ 空港利用の観光客などを対象とする高速船のターミナルや、周辺海域を遊覧するフェリー船のターミナル、ヨットハーバー

○ 域内交通

- ・域内を循環する交通システム。
- ⇒ 電気バス、LRT等

今後の課題 ～推進に向けて～

| | |
|---------------------|-------------------------|
| ① 沖縄 21 世紀ビジョン推進の要請 | ④ 国家プロジェクトとしての意義や重要性の検討 |
| ② 大規模 MICE 施設への対応 | ⑤ 当委員会の活用 |
| ③ 都市計画との整合 | ⑥ 情報共有の必要性 |

沖縄21世紀ビジョン基本計画及び実施計画における位置づけの整理

- ・導入機能の実現に向けて、沖縄 21 世紀ビジョン基本計画における位置づけや、実施計画における事業内容を整理。

(出展：那覇軍港跡地利用構想（H26年9月）) 11

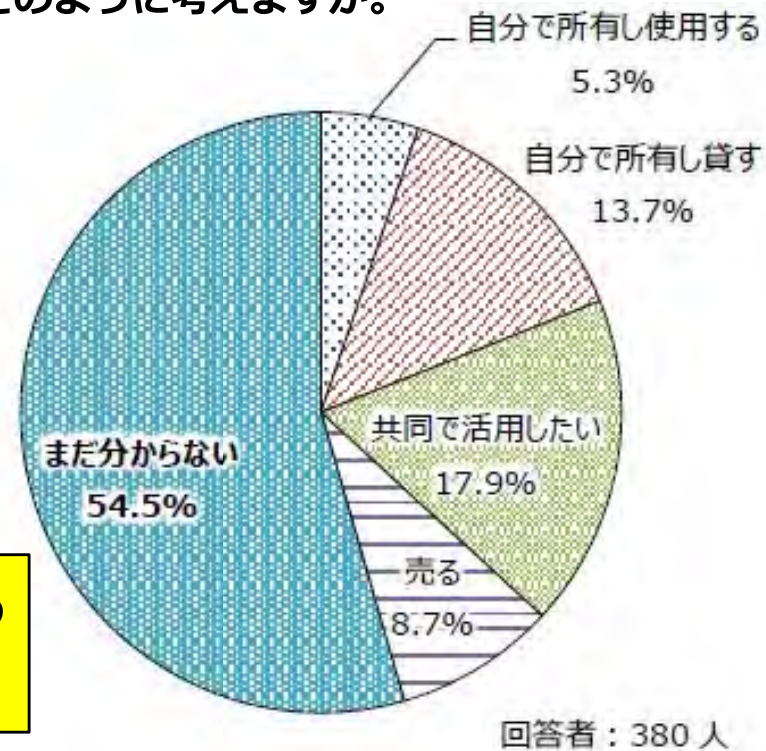
2. 返還後の跡地利用に係る現時点での検討状況、課題認識

那覇軍港の地権者を対象としたアンケート調査（H27.12）

Q：返還された場合、あなたは土地の利用についてどのように考えますか。

| | 回答数 | 構成比 |
|------------|-----|--------|
| 自分で所有し使用する | 20 | 5.3% |
| 自分で所有し貸す | 52 | 13.7% |
| 共同で活用したい | 68 | 17.9% |
| 売る | 33 | 8.7% |
| まだ分からない | 207 | 54.5% |
| 無回答 | 7 | - |
| 計 | 387 | 100.0% |

返還後の土地利用について、地権者の
5割強が「まだ分からない」と回答



（出展：那覇軍港地権者等合意形成活動 活動の方向性の整理等検討調査報告書（H28年3月）（那覇市HP））

2. 返還後の跡地利用に係る現時点での検討状況、課題認識

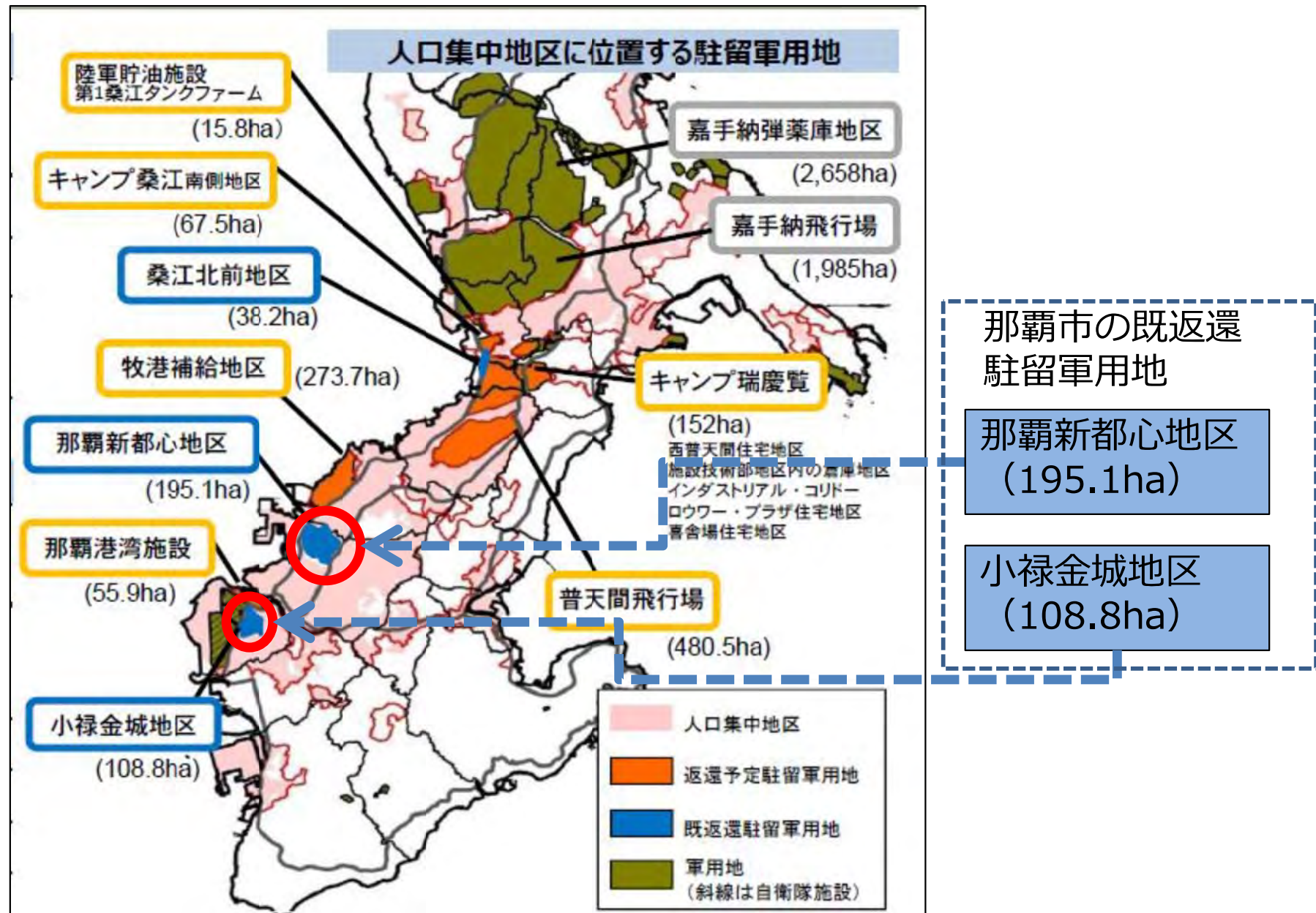
(検討状況)

沖縄県、那覇市、那覇軍用地等地主会がそれぞれ計画・構想を策定しており、空港・港に隣接した那覇港湾施設が市・県経済に貢献する高いポテンシャルをもっており、様々な視点から評価されている。

(課題)



代替施設の位置について、那覇港湾施設移設に関する協議会において協議中である。

3.既に返還され跡地利用が進んでいる先進事例に係る評価及び課題認識について



(出展：駐留軍用地跡地利用に伴う経済波及効果等に関する検討調査 (H27年1月30日) (沖縄県HP))

3. 既に返還され跡地利用が進んでいる先進事例に係る評価及び課題認識について

| 既返還駐留軍用地 における 経済効果 | 整備による 直接経済効果 単位：億円 | 活動による直接経済効果 単位：億円／年 | | |
|--------------------------|--------------------------|------------------------|---|-----|
| | 返還後 | 返還前 | 返還後 | 倍率 |
| 那覇新都心地区 | 3,060 | 52 |  1,634 | 32倍 |
| 小禄金城地区 | 1,153 | 34 |  489 | 14倍 |

| 返還予定駐留軍用 地における 経済効果 | 整備による 直接経済効果 単位：億円 | 活動による直接経済効果 単位：億円／年 | | |
|---------------------------|--------------------------|------------------------|--|-----|
| | 返還後 | 返還前 | 返還後 | 倍率 |
| 那覇港湾施設 | 943 | 30 |  1,076 | 36倍 |

| | |
|-------------|---|
| 整備による直接経済効果 | 返還後の施設・基盤整備（投資）による効果（公共・民間含む） ※返還・引渡し後からの一定期間を中心として時限的に発現する効果 |
| 活動による直接経済効果 | 返還前：地代収入、軍雇用者所得、米軍等への財・サービスの提供額、基地周辺整備費等、基地交付金 返還後：卸・小売業、飲食業、サービス業、その他産業の売上高、 不動産（土地、住宅、事務所・店舗）賃貸額 ※一定程度、基盤整備等を終えたのちに徐々に発現していく効果 |

（「駐留軍用地跡地利用に伴う経済波及効果等に関する検討調査（H27年1月30日）（沖縄県企画調整課）」より抜粋）